



令和7年10月22日
海上保安庁

第21回アジア海上保安機関長官級会合への参加について (結果概要)

10月13日(月)から16日(木)まで、オーストラリア・シドニーにて開催された「第21回アジア海上保安機関長官級会合(HACGAM: Head of Asian Coast Guard Agencies Meeting)」に海上保安庁から瀬口良夫長官が出席しました。

会合では、各国の取組や好事例を情報共有するとともに、オーストラリア沿岸警備隊と事務局である海上保安庁が提案した新たなイニシアチブである HACGAM Vision 2030 について議論がなされました。

1 日程概要

日 時：令和7年10月13日(月)から10月16日(木)まで

場 所：オーストラリア・シドニー

2 参加国・地域等(26カ国、1地域、2機関)

(1) 正式メンバー(21カ国、1地域)

オーストラリア、バーレーン、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、フランス、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、モルディブ、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、トルコ、ベトナム、香港(中国)

※正式メンバーのミャンマーが不参加

(2) アソシエイトメンバー(2機関)

UNODC-GMCP、ReCAAP-ISC

(3) オブザーバー(4カ国)

英国、ニュージーランド、パプアニューギニア、東ティモール

(4) ゲスト(1カ国)

イタリア

3 結果概要

- ・参加国・地域等は、「搜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法活動の予防・取締り」、「人材育成」及び「情報共有/合同訓練」の5つのワーキンググループにおいて意見交換を行い、引き続き、各分野における連携・協力を進めていくことで一致しました。
- ・オーストラリア沿岸警備隊と事務局である海上保安庁が提案した新たなイニシアチブである HACGAM Vision 2030 に合意する旨の共同声明を採択しました。(別添参照)
- ・2026年のホスト国として中国を選出しました。



本会合の様子



閉会挨拶



各国長官級集合写真会

共同声明（仮訳）
第 21 回アジア海上保安機関長官級会合
(2025 年 10 月 15 日採択)

オーストラリア、バーレーン、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、フランス、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、モルディブ、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、トルコ、ベトナム、香港（中国）及び 2025 年 10 月 16 日にオーストラリアのシドニーで実施された第 21 回アジア海上保安機関長官級会合に参加できなかったミャンマーを含めた本会合メンバーである 22 カ国、1 地域の海上保安機関の長は、ReCAAP-ISC、UNODC-GMCP のアソシエイトメンバーとしての参加を得るとともに、各海上保安機関の権限及び任意参加の原則を最大限尊重するとの枠組みにおいて、

地域の海上安全の確保と促進のため、連携を強化することを確認し、2014 年に横浜で開催された第 10 回 HACGAM の共同声明に基づき、会合メンバーの連携を継続し、主体的に同会合の枠組みを活用することにより、安全で、美しい、アジアの海を未来に繋げていくことを合意したことを想起し、

HACGAM の基本思想であるミーティングルームからフィールドへという考え方にに基づき、より実務的な協力関係を強化していくことの重要性を認識し、

インドネシア、中国、インド、パキスタン、オーストラリア及び韓国が主導する 5 つのワーキンググループの取り組みが「Safe Secure and Clean Seas for Future」を維持・確保するために大きく貢献していることを称え、

ReCAAP-ISC によるアジアの海賊・武装強盗の最新情勢に関する報告、HACGAM メンバー、ReCAAP フォーカルポイント、各国法執行機関の努力を認識し、

オーストラリア沿岸警備隊及び事務局により提案された新たなイニシアチブである HACGAM Vision 2030 及び各ワーキンググループで特定された中核となる課題に合意し、アクションアイテムとタイムラインについて議論を継続することを確認し、

オブザーバーとして英国、ニュージーランド、パプアニューギニア、東ティモール、ゲストとしてイタリア沿岸警備隊の参加を歓迎し、

中国の 2026 年 HACGAM のホストへの寛大な申し出と全メンバーの招待に感謝し、

オーストラリア国境警備隊の会合開催にかかる多大なる努力と素晴らしい調整に感謝し、

我々は、国家間の海上保安に関する連携が、地域の海上安全の確保と促進に有効であると確認し、「Safe Secure and Clean Seas for Future」を確かなものとするため、この連携を維持・発展させることに同意した。